

## 南関東

## 合格基準

120 問中 84 問以上を正解すること、かつ、各章の正解率が 35%以上であること

## 合格率

東京 39.9% 千葉 34.4% 埼玉 38.6% 神奈川 41.6%

## 第 1 章 医薬品に共通する特性と基本的な知識

## 問 1 正答 2 ★★★

- a, c 正
- b 一般用医薬品として販売される製品は、製造物責任法の対象でもある。
- d 人体に対して使用されない医薬品は、人の健康に影響を与えることがある(例：殺虫剤)。

## 問 2 正答 4 ★★★

- a 動物実験により求められる LD<sub>50</sub> は、薬物の毒性の指標として用いられる。
- b, d 正
- c ○GSP：医薬品の製造販売後の調査及び試験の実施の基準  
※Good Post-marketing Study Practice の略  
○GVP：医薬品の製造販売後安全管理の基準  
※Good Vigilance Practice の略

## 問 3 正答 3 ★★★

- a 健康食品は、医薬品との相互作用で薬物治療の妨げになることがある。
- b, d 正
- c 健康食品では、誤った使用方法や個々の体質により健康被害を生じた例が報告されている。

## 問 4 正答 3 ★★★

- a, b, d 正
- c 医薬品の添加物は、アレルギーを引き起こす原因物質(アレルゲン)となり得る。

## 問 5 正答 5 ★★★

- a 一般用医薬品は、軽度な疾病に伴う症状の改善等を図るものであり、重大な副作用の兆候が現れた場合は基本的に使用を中止する。
- b 医薬品が人体に及ぼす作用は、すべてが解明されているわけではないため、十分注意して適正に使用された場合であっても副作用が生じることがある。

## c, d 正

## 問 6 正答 2 ★★★

- a 一般用医薬品は、指示どおりの使用量であっても、長期連用すれば、肝臓や腎臓などの医薬品を代謝する器官を傷めたりすることがある。
- b, c 正
- d 適正な使用がなされる限りは安全かつ有効な医薬品であっても、乱用された場合には薬物依存を生じることがあり、そこから離脱することは容易ではない。

## 問 7 正答 5 ★★★

- a 外用薬であっても、食品によって、その外用薬の作用や代謝が影響を受けることがある。
- b 相互作用は、医薬品が吸収、分布、代謝又は排泄される過程で起こることがあり、また、医薬品が薬理作用をもたらす部位において起こるものがある。

## c, d 正

問 8 正答 1 ★★★

- 新生児：生後 4 週未満
- 乳児：生後 4 週以上、1 歳未満
- 幼児：1 歳以上、7 歳未満
- 小児：7 歳以上、15 歳未満

問 9 正答 3 ★★★

- 1, 2, 4, 5 正
- 3 成人用の医薬品の量を減らして小児へ与えるような安易な使用は避け、必ず年齢に応じた用法用量が定められている医薬品を使用する。

問 10 正答 5 ★★★

- a 高齢者は、持病を抱えていることが多く、一般用医薬品の使用によって基礎疾患の症状が悪化したり、治療の妨げとなる場合がある。
- b 高齢者の生理機能の衰えの度合いは個人差が大きく、年齢から副作用のリスク増大の程度を判断することは難しい。
- c, d 正

問 11 正答 5 ★★★

- a, c, d 正
- b 正

**関連** 妊婦が使用した場合における安全性に関する評価が困難であるため、妊婦の使用について、一般用医薬品では「相談すること」としているものが多い。

問 12 正答 4 ★★★

- a 一般用医薬品の購入者等に対して、医療機関で治療を受ける際には、使用している一般用医薬品の情報を医療機関の医師や薬局の薬剤師等に伝えるよう説明する必要がある。
- b 特定の症状がある人が、医療機関での治療を特に受けていない場合であっても、医薬品の種類や配合成分等によってはその症状を悪化させるおそれがあり、注意する必要がある。
- c, d 正

問 13 正答 2 ★★★

- a, c 正
- b プラセボ効果には、時間経過による自然発生的な変化等が関与していると考えられている。
- d プラセボ効果によってもたらされる反応や変化には、望ましいものと不都合なものがある。

問 14 正答 1 ★★★

- a, b 正
- c 「使用期限」は、未開封状態で保管された場合に品質が保持される期限である。
- d 医薬品を保管・陳列する際は、高温、多湿、直射日光等の下に置くことのないよう留意する必要がある。

問 15 正答 5 ★★★

- a スポーツ競技者についてはドーピングに注意が必要で、一般用医薬品には、使用すればドーピングに該当する成分を含むものがある。
- b, c, d 正

問 16 正答 4 ★★★

- a 一般用医薬品では、必ずしも情報提供を受けた本人が医薬品を使用するとは限らないことを踏まえ、販売時のコミュニケーションを考える必要がある。
- b, c 正
- d 一般用医薬品の販売等に従事する専門家からの情報提供は、専門用語を分かりやすい平易な表現で説明するだけでなく、説明内容が購入者等にどう理解されたかなどの実情を把握しながら行う必要がある。

問 17 正答 3 ★★★

- a, b, c 正
- d サリドマイドの R 体と S 体は体内で相互に転換するため、R 体を分離して R 体のみで製剤化しても催奇形性を避けることができない。